

# 作家の魅力 映画の魅力

映画監督

高橋 伴明

故立松和平氏夫人

横松 美千繪

編集者

長田 洋一

映画監督の高橋伴明さんと作家の故・立松和平さんの妻横松美千繪さんによる映画と本の話。

「本の寺子屋」コーディネーターの長田さんがその魅力をたっぷりお聞きします。

2018年 **5月20日** **日** 13:30~15:30 (開場 13:00)

塩尻市市民交流センター(えんぱーく) 5階 イベントホール

定員/50名(先着順) 参加費/無料 申込開始/4月8日(日)

## 申込方法

本館総合カウンター、電話(0263-53-3365)、Eメールのいずれかでお申し込みください。Eメールの場合は、次の内容をお送りください。

宛先 tosho@city.shiojiri.lg.jp

件名 「5/20 本の寺子屋申込」

本文 1参加者全員の氏名(フリガナ)、2代表者電話番号、3お住まいの地区、  
4この講演会を何で知ったか(新聞、広報など)

## PROFILE



**高橋 伴明 (たかはし ばんめい)** 1949年5月10日奈良市生まれ。1969年早稲田大学に入学するが、第二次早稲田闘争に参加。学籍を抹消。1972年『婦女暴行脱走犯』にて監督デビュー。以降50数本のピンク映画を監督。1982年『TATTOO<刺青>あり』でヨコハマ映画祭監督賞受賞。1994年『愛の新世界』で”おおさか映画祭”監督賞受賞。以後、脚本・演出・プロデュースと幅広く活躍。他に代表作として『DOOR』(1988)、『ネオチンピラ・鉄砲玉びゅ〜』(1990)、『獅子王たちの夏』(1991)、『セラフィムの夜』(1995)、『迅雷』(1996)、『大いなる完』(1998)、『光の雨』(2001)、『火火』(2005)、『丘を越えて』(2008)、『禅 ZEN』(2009)、『BOX』(2010)。

**横松 美千繪 (よこまつ みちえ)** 1946年東京生まれ。1970年『早稲田文学』編集室で学生の立松和平と知り合う。1971年結婚。1979年から文筆活動に専念する立松と2010年に亡くなるまで共に暮らす。文筆をする長男、絵を描く長女あり。孫9人の祖母。

**長田 洋一 (おさだ よういち)** 1944年生まれ。編集者。河出書房新社『文藝』元編集長。現在アーツアンドクラフツ編集顧問。立松和平、田中康夫、俵万智、辻井喬、中上健次など多くの作家の誕生に携わった。「本の寺子屋」企画者。安曇野市在住。

## 問い合わせ

塩尻市立図書館本館 TEL:0263-53-3365 E-mail:tosh@city.shiojiri.lg.jp (毎週水曜日休館)